

ワープロ競技 全国へ

限られた時間で日本語の単語を何文字打てるか、タイピングの技術を競う「全国高校ワープロ競技大会」に、加古川南高校(加古川市加古川町友沢)3年の藤沢友農さん(17)と船越紫温さん(17)が、ともに個人の部の代表として挑む。同校からの出場は初めてで、「上位を狙う」と意気込む。

(千葉翔太)

加古川南高3年 藤沢さん、船越さん

2人が所属する同校情報ビジネス部は4月、神戸市内で開かれた「県高校ワープロ競技大会」の団体の部に出場。惜しくも神戸星城高校(同市須磨区緑が丘)に敗れて準優勝だったが、個人の得点で藤沢さんが1位、船越さんが6位になった。団体で出場する神戸星城の選手を除くと、船越さんが個人で全体の2位に繰り上がり、そろって全国への切符を手にした。

競技は10分間。新聞の社説や時事問題などを抜った文章が出題される。約3500文字あり、10分間で打ち込んだ文字数から誤字数を引いた点数で競う。

船越さんは、入部当時に10分間で打ち込んだのは1000文字ほどだったが、2年間で打ち込める文字数は約10倍に。県大会に向けても自宅で自主練習を重ね、本番では総字数で1108文字をタイピングした。

素早く正確なタイピング

「もっと速く」「自己ベスト狙う」

を競うことから、藤沢さんは打ちやすいローマ字の組み合わせを研究。「キーボードをスムーズに、スマートに打てるのが楽しい」と

話を。県大会では、次点の選手に総字数では及ばなかったが、ミスが少なく総合得点で上回った。

全国大会に向け、船越さんは「ミスを恐れず、もっと速くキーボードを打ちたい」。藤沢さんは「実力を全て出し切り、自己ベストを狙いたい」と語る。全国大会は8月4日、名古屋市千種区の同市中小企業振興会館で開催する。



全国高校ワープロ競技大会に出場する(左から)藤沢友農さん、船越紫温さん(加古川南高校)